

## Y.K さんの報告書



私はこの研修旅行に参加して英語の大切さを実感しました。今回行ったマレーシアも主に英語を使って会話をするので、もっと英語力をあげておけば伝わるのがあったのになあと思う時が多々ありました。しかし、決して上手くない英語でも伝わるもので、実際にホテルでモーニングコールを頼むときの電話や、人に道を聞きたい時など日本の英語の授業で習ってきたようなシチュエーションが起きました。その時に、うまくない発音だけど、どのように言えばうまく相手に伝わるのかを考え、試していく中で徐々に伝わっていくようになりました。こうした経験は日本には絶対にできないと思うし、自分が成長した良い機会になったと思います。

また、私は2日目のサバ大学で現地の人達と英語とマレー語を使って会話をしました。そこで自分の言いたいことが伝わったことに喜びを感じ、もっといろいろな人と会話をしたいと思うようになりました。それから自由行動があるたびに街のレストランの店員さんやショッピングモールの店員さんなどに話しかけるようにしました。その中でも印象的だった人は、スターバックスの店員さんで、日本の文化が好きらしく、私が日本人だとわかってからすごく話しかけてくれました。日本のアニメの話をしたり、日本語を教えてあげたりしたことは貴重な時間だったなと思いました。

ほかにも、私はマレーシアならではの珍しい動植物を生で見ることができたことが印象的でした。特に植物のラフレシアは、5日間しか咲かないといわれる花なので、今回たまたま開花の時期に行けてラッキーだったなと思いました。また、ボルネオ島のみで生息している野生のテングザルをリバークルーズで探したことは本当に楽しかったし、生で生態を観察できてよかったです。このように日本ではなかなか見ることができない動植物を見ることができたのは非常に良い思い出になりました。



ラフレシアの花

